

日銀の即時グロス決済化に向けたシステム整備

中島克之

日本銀行は2000年末を目標に、国債決済、当座預金決済のRTGS（即時グロス決済）化を進めている。このため各金融機関は、日銀とのインタフェースについて業務、システムの両面で抜本的な改革を迫られている。NRI野村総合研究所は、こうした金融機関のニーズに応えるべく、「日銀RTGS対応システム」を開発しており、今後の決済期間短縮や決済インフラ整備などへのシステム対応も視野に入れている。

■ 即時グロス決済化への動き

現在、国債の決済は、日銀ネットへ先日付で決済入力し、決済日の午後3時に受け払いの相殺による時点決済になっている。これに対し、2000年末のRTGS化後は、原則として日銀ネットへの当日の決済入力による即時決済だけになり、受け払い予告も廃止される。当座預金の決済も同様に、時点決済から即時決済になる。

日銀は、RTGS化後の資金の流動性を確保するために、通常の

担保差し入れによる当座預金貸し越しと、国債のDVP（証券と代金の同時受け渡し）決済時に、買付けした国債を同時担保とする当座預金貸し越しの2つのスキーム（仕組み）を用意する。

■ 日銀RTGS対応システム

このようなRTGS化に対応する必要に迫られている金融機関向けに、NRIは「日銀RTGS対応システム」を開発中である（図1）。

同システムでは、業務アプリケ

ーションの要件として、日銀の残高をリアルタイムに把握し、決済指示を送信する時点で残高をチェックする機能、決済に必要な資金効率を上げるために、担保の効率的な運用により当座預金貸し越しの最大限の利用を制御する機能、日中の大量の決済指示をスムーズに実行するために、発信の優先順位を随時適正化する機能——などを実現している。

一方、日銀とのデータ接続は、全銀BSC（2進同期通信）手順でのファイル転送により行われる。ただし、一部、日銀独自仕様の通信手順となっているので、慎重に対応しなければならない。また、ファイル転送ミドルウェアを用いて、日銀ゲートウェイと業務アプリケーションを接続している。

図1 日銀RTGS（即時グロス決済）対応システムの構成



■ 決済期間短縮、 決済インフラ整備

今後、2002年の約定日翌日決済、各決済機関（日銀の国債、証券保管振替機構の株・転換社債、債券決済ネットワークの社債など）の統合化が予定されている。

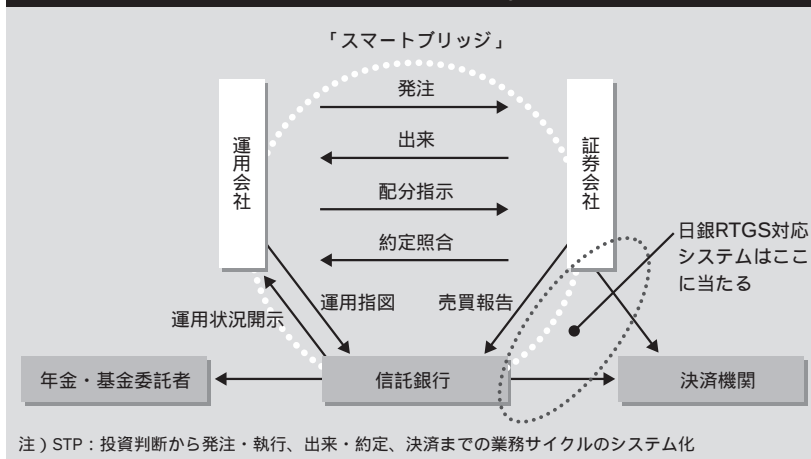
今回の日銀RTGS対応システムも、当然この流れに大きく影響される位置づけにあり、次の展開を意識した設計にする必要がある。NRIでは、今後増えるであろう外部接続ゲートウェイについて、接続方式や利用技術を極力共通化し、外部要件の変化に応じてシステムコンポーネントの統廃合を柔軟に行えるようにしておくべきだと考えている。

■ STP 実現に向けた取り組み

NRIは、運用機関（投資顧問会社、投信会社、信託銀行運用部）、証券会社、信託銀行に対して、ファンド分析、ポジション管理、特金・年金信託財産管理などの、各プレイヤーの各業務に必須の情報システムを提供している。

各プレイヤーは、まず社内のこうした業務システムを接続して、社内でのSTP（投資判断から発注・執行、出来・約定、決済までの業務サイクルのシステム化）を実現しようとしている。

図2 STPを実現する「スマートブリッジ (Smart Bridge)」



次の目標は、各プレイヤーを超えたSTPを実現することである。NRIは、運用機関、証券会社、信託銀行の3者間を取り持つネットワークとして「スマートブリッジ (Smart Bridge)」を位置づけている（図2）。ここでは、発注・出来、口座配分指示、約定照合、運用指図、売買報告などの情報がやりとりされる。

■ インタフェースへの配慮

金融機関は今後、今回のRTGS対応システムだけでなく、外部機関やその間を取り持つパッケージシステムへ接続する機会がますます多くなる。このため、発注・出来、約定照合、運用指図、売買報告、決済指示・通知などのさまざまなところでデータ変換を行う必要に迫られる。そう考えると、

NRIの「スマートポート (Smart Port)」のような汎用データ変換システムは、STPを実現するために必須の要素といえよう。

ビッグバンにより環境が激しく変化するなかで、システムの仕様を決め、業務をどう変えていくかはむずかしい問題である。市場ルールの確定に時間がかかったりするため、一足飛びには決められないのが現実である。こうした事態を乗り越えるためには、外部情報の取得と消化ができる体制・能力をいっそう強化していくことが肝要である。

『システム・マンスリー』

1999年11月号より転載

中島克之（なかじまかつゆき）

I-STAR事業部上級システムエンジニア